

履修系統図(2018年度入学生から適用)

○選択科目

【学位授与方針】
卒業時到達目標

	1年	2年	3年	4年
<p>【1. 豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観をもって看護を实践できる能力】</p> <p>①人間について深く理解しようとすることができる。 ②人間としての尊厳を理解し、敬意をこめた関わりができる。 ③他者との発展的な相互関係を構築できる。</p>	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生命倫理学 ○医療と人間 ○経済学 ○社会学 ○歴史 ○認知科学 ○生物Ⅰ ○生物Ⅱ ○基礎数学 ○物理学 ○化学Ⅰ ○化学Ⅱ ○スポーツ科学 ○スポーツ実習 ○法学 <p>体の仕組みと働きⅠ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国際関係論 ○人間関係論 ○社会福祉論 ○生涯発達ケア論 ○精神看護援助論Ⅰ ○地域保健活動演習 	<ul style="list-style-type: none"> ○解剖生理学演習 ○リラクゼーション論 	
	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心理学 ○哲学と宗教 ○コミュニケーション概論 <p>体の仕組みと働きⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栄養学総論 ○生活健康科学 	<ul style="list-style-type: none"> ○文学 ○家族社会学 ○ジェンダー論 ○比較文化論 ○スポーツ科学 ○スポーツ実習 ○母性看護援助論Ⅰ ○小児看護援助論Ⅰ ○老年看護援助論Ⅰ ○在宅看護援助論Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ科学 ○スポーツ実習 	
<p>【2. 人間と社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門知識と技術をもって看護を实践できる能力】</p> <p>①看護の対象である人間の生活と社会のありようへの関心を持ち続けることができる。 ②看護の目的達成に向けて、自己の看護実践を省察できる。 ③根拠に基づき、論理的な思考を活用した看護が実践できる。</p>	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医学・医療概論 ○看護学概論 ○基礎看護援助方法Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ○疾病治療論Ⅰ ○疾病治療論Ⅱ ○疾病治療論Ⅲ ○基礎看護援助方法Ⅲ ○クリティカルシンキングⅡ 	<ul style="list-style-type: none"> ○医用機器概論 ○代替医療論 ○母性看護援助論Ⅱ ○小児看護援助論Ⅱ ○終末期看護援助論 ○老年看護援助論Ⅱ ○在宅看護援助論Ⅱ ○公衆衛生看護援助論Ⅱ ○養護概論 ○学校健康相談 	<ul style="list-style-type: none"> ○母性・小児看護学実習 ○急性期・慢性期看護学実習 ○老年・在宅看護実習 ○精神看護学実習 ○公衆衛生看護援助論Ⅲ
	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨床薬理学 ○病原微生物学 ○病態生理学 ○治療学総論 ○基礎看護援助方法Ⅱ ○公衆衛生看護援助論Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎看護援助方法Ⅳ ○基礎看護援助実習Ⅱ ○急性期看護援助論 ○慢性期看護援助論 ○精神看護援助論Ⅱ ○保健指導演習 	<ul style="list-style-type: none"> ○母性・小児看護学実習 ○急性期・慢性期看護学実習 ○老年・在宅看護実習 ○精神看護学実習 	<ul style="list-style-type: none"> ○公衆衛生看護学実習
<p>【3. 看護の対象となる人々や他職種と連携・協働して看護を展開できるコミュニケーション能力】</p> <p>①多様な場や状況における看護専門職の役割や機能について理解し、チーム活動にいかすことができる。 ②互いの専門性や役割を理解し、看護の専門性を活かしてチーム活動を推進できる。 ③チームの目標設定・達成に資する合意形成に向けた意見交換ができる。</p>	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療マネジメント論 ○キャリア教育Ⅲ 	<ul style="list-style-type: none"> ○協働実践演習
	<p>後期</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○機能看護学Ⅲ ○チーム活動論 	
<p>【4. 生涯を通じて自己研鑽し、看護実践の向上と新たな課題解決のために意欲的に取り組める能力】</p> <p>①専門職としての責務を自覚し、自立して能力向上と課題に取り組むことができる。 ②看護職者として、将来の展望を描き、その達成に向けて自律的に取り組むことができる。 ③柔軟な思考によって、看護の知を活用し、対象に還元できる。</p>	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○機能看護学Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ○機能看護学Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎看護援助方法Ⅴ 	
	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎看護援助実習Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療安全管理学 	<ul style="list-style-type: none"> ○クリティカルシンキングⅢ 	<ul style="list-style-type: none"> ○看護の統合実習
<p>【5. 国際化・情報化に対応できる幅広い視野と語学力・スキルをもって社会の要請に応えられる能力】</p> <p>①物事を俯瞰し、現象の本質を探求する態度をもって、人々の健康課題をとらえることができる。 ②語学力・情報リテラシーをもって、人々の健康課題に対する自己の考えを社会に向けて発信できる。 ③多文化・異文化の中で人間関係を形成し、共に行動できる。</p>	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英会話Ⅰ ○中国語 ○情報リテラシー ○ボランティア論 ○ボランティア活動 ○クリティカルシンキングⅠ 	<ul style="list-style-type: none"> ○英会話Ⅲ ○公衆衛生学 ○疫学・保健統計論 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門英語 ○国際看護論 	
	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データサイエンス ○英語講義・記述 ○英会話Ⅱ ○フランス語 ○情報科学 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報通信と保健医療 ○保健医療福祉行政学 		<ul style="list-style-type: none"> ○機能看護学Ⅳ ○災害看護援助論